

税理士試験必修教科書・問題集 相続税法 基礎導入編 【2019年度版】 (2018年8月27日 初版 第1刷)

弊社の書籍をご利用いただき、有難うございます。

訂正が出ないようにと努力しておりますが以下の通り、誤りが判明致しました。

お手数をおかけして申し訳ございませんが訂正の上、ご利用下さい。

2018.10.5

ページ	訂正箇所	誤	正	備考
教科書 2-18	(2)②	被相続人の配偶者を被相続人の父母が養子としている場合	被相続人 <u>を配偶者</u> の父母が養子としている場合	2018.10.5
教科書 7-3	側注*03) 8行目のカッコ書き	カッコ書き→削除	カッコ書き→ <u>イ及びロの末尾に追加</u>	2018.10.5
教科書 8-9	解答の4行目・6行目	② 平成30年分 3,543,210 ④ ①+②+③=13,543,210	② 平成30年分 3,543, <u>500</u> ④ ①+②+③=13,543, <u>500</u>	2018.10.5
教科書 8-20	側注*06) 4行目	～平成10年を差し引いて～	～平成 <u>11</u> 年を差し引いて～	2018.10.5
問題集 3-7	解説①の2行目	友人丙は <u>非居住</u> 無制限納税義務者に該当し、～	友人丙は <u>居住</u> 無制限納税義務者に該当し、～	2018.10.5
総合計算-2	(注)3	<u>父、母及び長女A</u> は既に死亡しているが、 <u>母及び長女A</u> の～	<u>長女A</u> は既に死亡しているが、 <u>長女A</u> の～	2018.10.5

ISBN 978-4-7810-3632-8

C1034 ¥2500E